

ROTARY SERVING HUMANITY



第2780地区
大磯ロータリークラブ



人類に奉仕するロータリー

2016～2017年度RI会長

ジョンF.ジャーム

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県中郡大磯町国府本郷546大磯プリンスホテル内 TEL：0463-61-1111(木) TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：毎週木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281

会長 百瀬 恵美子

会長エレクト 新宅 文雄

幹事 井上 浩吉

第2397回

例会

平成29年2月2日 No.20

■司会：大藤 勉

■点鐘：百瀬 恵美子

■合唱：君が代・奉仕の理想

◇プログラム ・2月9日：休会 ・2月18日：第8G I M ・2月23日：50周年フォーラム

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	メイクアップ	修正出席率
2397回	14(11)	6	54.55%	—	—
2395回	14(12)	8	66.67%	—	—

◇欠席者(5名)

宮澤、原、石山、太田、田中さん

◇メイクアップ(0名)

◇ビジター紹介：加藤和男さん(二宮)

加藤哲也さん(二宮)

◇出席報告：河本親秀委員

◇会長報告

百瀬恵美子会長

今日は！明日は節分の豆まき、皆さんに福豆を差し上げます。



注：昨年までは規程審議会は3年に1回開催され、そこで立法案＝制定案と決議案が審議されていましたが、提案が500を超え、1週間の審議日程におさまらないのが実情でした。それで次回からは決議案だけを毎年提案を受け付け、電子投票にて賛否を取る事に決まり、今回の要請が第1回になります。この変更に伴い、各地区では規程審議会代表委員を3年任期で選出することになりました。

4. 来週2/9は休会、2/16はIM振替になりますので注意下さい

5. 女性会員増強のためのセミナー開催：3/4

6. 例会終了後理事会を開きます

◇幹事報告

井上浩吉幹事

回覧：

1. 次年度クラブ指導者に向けた「公共イメージセミナー」開催：3/8 14:30～

場所：藤沢商工会館

2. 例会変更：平塚西RC

3. 平塚RC創立60周年記念式典：17:30



1. インターアクトの一泊研修会：3/25、
場所：七沢自然ふれあいセンター。
2. 第2回アクターズ・ミーティング：2/19
メインプログラム：ハッスルスピーチ
場所：ヴェルク横須賀（横須賀市立勤労福祉会館）4階第1研修室
3. 規程審議会立法案提出について：
決議案提出期限：4/10

場所：サンライフガーデン

4. ロータリー財団室ニュース

5. 2月のロータリーレート：116円

◇委員会報告：

☆スマイルボックス

新宅文雄さん

・加藤哲也さん：
本日お世話になります。

・百瀬恵美子さん：
今日は！！大藤さん卓話たのしみです。

・河本親秀さん：二宮ロータリークラブの加藤さんようこそ。大藤さん卓話楽しみです。

・新宅文雄さん：①大藤さん卓話楽しみです。②先週は誕生祝ありがとうございました。



☆河本さん：次年度の国際ロータリーのテーマが決まりました：

英語：「Rotary: Making Difference」

日本語：ロータリー:変化をもたらす

大谷ガバナー・エレクトによれば、「:」の意味は「ロータリーは自ら変化する」、「ロータリーは世界に変化をもたらす」の両方の意味があるとの解釈です。

加藤和男さんから二宮クラブの現況とこれからの運営目標を、哲也さん(和男氏ご子息)からは初メイクアップのご挨拶を頂きました。



◇卓話

◆◆◆小田原北条氏と戦国大名◆◆◆

大藤 勉さん



私もそろそろ定年が近づいてきました。みなさんは、生涯現役の人たちばかりですから、あまり考えたことはないでしょうが、最近、定年後に何をしようかなと、ときたま考えます。学生時代、勉強はあまりしませんでした。唯一、日本史は好きでした。二宮に生まれ、地元就職したので、相模の国を戦国期に支配した北条氏、小田原北条氏に関することでも調べてみようかなと思っています。そもそも私が歴史に興味を持ったのは、NHKの大河ドラマの影響があったと思います。加えて、小学校の5、6年のときの担任の先生が歴史好きで、他のクラスにはないマンガ日本史という本がクラスにありまして、それをよく読んでいました。僕は、そもそも本が嫌いで、子供のときほとんど読みませんでしたし、またマンガを読む習慣もなかったのですが、このマンガ日本史が、面白かったことを記憶しています。

大河ドラマで覚えているのが、小学生の時の太閤記、確か緒形拳が秀吉役で、石坂浩二が石田三成役であったと記憶しています。そして面白いなあと思ったのは、上杉謙信を扱った「天と地と」、これは6年生のときですから、昭和44年だったと思います。原作は、懐かしい、海音寺潮五郎、上杉謙信役が石坂浩二で、武田信玄役が高橋幸治でした。高橋幸治は、先ほど話した、太閤記では信長役でした。本当に、これぞ役者と感じさせられる人で、敵役信玄を憎らしいくらいにみごとに演じていたことを今でも鮮明に覚えています。

ここ1年くらいで読んでおもしろかった歴史小説は、吉川広家を扱った「うつけの采配」、毛利勝永を扱

った「獅子は死せず」、また早雲の軍配者、信玄の軍配者、謙信の軍配者の軍配者シリーズ3部作です。昔から読んでいますが、池上正太郎の真田太平記12巻は、何度か読みました。これは、真田昌幸、信之、幸村の活躍とともに忍びの活躍も描かれていて、これも面白かったです。昨年、小説の中に出てくる別所温泉、信州の鎌倉と呼ばれていますが、に初めて行きまして、すごく良くて、ぜひもう一度、今度は別所に泊まってみたいと思っています。

戻りまして、まず、北条氏のことですが、五代のうち初代北条早雲がもっとも有名かと思います。早雲と名がつくところでは、墓所の湯本にある早雲寺や強羅の上の早雲山駅、早雲地獄などがあります。僕は以前箱根に住んでいたことがあります、この早雲山駅の真ん前の旅館に住んでいました。

僕が歴史を習い始めたころは、北条早雲は、斉藤道三と並んで、下克上の戦国大名の典型で、どこの馬の骨かわからないなどと言われていましたが、司馬遼太郎の「箱根の坂」で北条早雲は足利將軍家に仕えていた伊勢氏の出であり、京都から東国にきたのは、早雲の妹とも姉ともいわれる北川殿が、駿河今川家の当主に嫁いだことがきっかけで、その北川殿に頼まれてと、書かれていました。今はこれが通説となっています。

そして今川氏の家督相続時に甥を助け、その甥が無事に当主を務めることになると、駿河の東側を受け持って、今の沼津にあった城（興国寺）をまかされます。

その後伊豆の堀越公方、足利茶々丸を滅ぼし、伊豆を支配、さらに大森氏を欺いて小田原城を手に入れています。

最近知ったところでは、早雲の生まれた年が、20年くらい後との説があり、それによると従来は87才まで生きたという説から、63才までの説になります。僕もこれまでの説だと、長男氏綱がうまれたのが、55才ですから、最近の説の方が現実的であると思いますし、早雲の領土を拡大していく意欲を考えると、後の説が有力なのではないかと考えています。また、伊豆の堀越公方を滅ぼしたのは、領土欲からだけではなく、第11代將軍義澄が異母兄弟の足利茶々丸に母親と弟を殺されたことから、將軍の意向に沿って堀越公方を攻めたという説があります。

その後、早雲が大森氏から小田原を奪ったのが1490年代と言われていまして、それから豊臣秀吉に滅ぼされる1590年まで、北条氏が戦国期約100年の間、伊豆を手始めにこの相模、武蔵を支配し、全盛期には、関東のかなりの部分に支配を拡大し、長く治め

ることができたのは、全国でも稀有であったと思います。

そもそも北条という姓は、2代氏綱の時に伊勢氏から姓を変えていまして、早雲の時は北条を名乗っていません。関東を治めるのに、鎌倉北条にちなんだ姓にしたほうが、都合が良かったのかなあとと思います。また、早雲は、小田原城を奪ったあとも、自身は韮山に根拠を置いていたようで、小田原に移ったのはやはり2代目からです。

平塚から伊勢原に向かう旧道の小田原・厚木線のガードを潜って出てきたあたり、左手に岡崎城跡という案内があります。早雲が小田原城を奪ったあと、大森氏の親せき筋の三浦義同が、早雲と対決するのですが、その三浦氏の居城がこの岡崎城でした。20代のころ、伊勢原の店舗に転勤になった際、どうもこの案内が気になって案内に従って見に行ったことがあります。そのころ早雲のことはもちろん知っていましたが、早雲と対立していた三浦氏の居城であることは知りませんでした。少し小高い丘のうえで今はお寺がありますが、あたりをよく見渡すことができます。その頃は田んぼが一面にありました。平坦で近くに川がありますので、その昔から田んぼだったのだろうと想像できます。足場が悪いので、攻めにくく、守りやすいところだったと思いますが、何十年もの間、両者は小田原と伊勢原というごく近いところで対立していたのかと驚かされます。



あと別に小田原の久野、ちょうど小田原斎場の近くに、総世寺という曹洞宗のお寺があります。北条の前の小田原城主の大森氏が建てたお寺とい

うことで、先ほどの司馬遼太郎の小説の中にも出てきます。小説を読む前から、その寺の前を車で通り、名前は知らなかったのですが立派な寺だなあと感じていたのですが、本に久野にある寺と出てきたので、もしかしたらあそこかなあと調べたら、本当にそれで、あとから見に行ったりしました。

それと韮山の城跡も行きました。ここも小高い丘の上ですが、歩いてすぐに登ることができました。下を見ると、韮山高校がよく見えました。この韮山城は、



秀吉の小田原征伐の際、各所の城が落ちる中、なかなか攻め落とすことができず、最後は開城したといわれています。映画「のぼうの城」の忍城とこの韮山城が攻め落せなかったといわれています。ただ韮山に行って思ったのは、よくこの程度の山城で、豊臣方を抑えることができたなあ、ちょっと不思議に思いました。何万もの兵で攻められたら、一たまりもないように感じました。当時は相当な規模であったのでしょう。

北条氏が他の戦国大名と違うところと言えば、一族・郎党の仲が良かったことです。これが長く統治できた最も大きな理由だと思います。早雲のときの主家にあたる今川氏、また甲斐の武田氏、いずれも何度も家督争いを起こしています。織田信長や毛利元就、そして伊達正宗は、家督相続に絡み、弟を殺しています。また、武田信玄や徳川家康、最上義光（最上義光の長男殺害については、はっきりとした証拠はありませんが、おそらくそうであろうと一般的に言われています。）はお家存続のためということで息子を殺しています。北条家では、そのような記述はなく、長男が家督を継いでいます。

たとえば、三代の氏康の子には、当主の氏政のほかには氏照、氏邦、氏規という弟がいて、それぞれ各地の城を守り、この4代氏政のときに領土が最大であったようです。最後、豊臣秀吉に滅ぼされたときに、主戦派と穏健派に分かれましたが、それぞれの立場で家を盛り立てようとしています。



1590年秀吉によって小田原攻めの際、なかなか戦いの方針が定まらず、のちに小田原評定と揶揄されますが、そもそも秀吉に服従しな

かったのは、武田信玄や上杉謙信といった名将に攻められてもびくともしなかった小田原城を過信したことと、上方からの秀吉の兵糧の輸送力を計算できなかったことだと思います。秀吉の力や大坂城のスケールの大きさは、使者として上方へ行った氏規や家康から聞いていたと思うのですが、理解できなかったのでしょうか。小田原征伐で北条氏は滅亡したと思われる人が多いと思いますが、北条家は氏規の子孫が、大阪の狭山で一万石の大名として、幕末まで存続しています。昨年、小田原城を改修した際に、

氏規の鎧を買い取って場内に展示してあるとの新聞記事を読んだので、一度見に行きたいと思っています。

昨年NHKの「ブラタモリ」で、小田原をやっていましたが、当時の小田原城は、町一体を城壁で囲むような構造になっていたと放送していました。確かに当時の地図を見ると、戦国期で最も大きな城構えであったと思います。周囲12、13キロあったと、これは僕が持っている本に書いてありますが、最近BSテレビの小田原城の特集では、周囲7、8キロと放送していました。

そのほか、「ブラタモリ」では、早川から水を引き入れて、城内の飲料水に利用していたことも紹介していました。確かにうちの菩提寺が、箱根板橋にあるのですが、付近を水がふんだんに流れていて、それが人工的に作ったということを知ることができました。のちに江戸の町を作るときに参考にしたようで、非常に進んだ考え方で支配していたものと感じました。

あと北条氏で特徴があるのは、年貢が他の大名より少なかったことです。普通、年貢は五公五民ですが、北条氏は四公六民と少なく、民に慕われたといろいろな本で紹介されています。江戸末期の勝海舟は北条氏の年貢が軽かったので、徳川家が関東に移ったとき苦労したであろうと話したと、どこかで読んだことがあります。

そろそろ時間なので、また機会があれば、お話できればと思います。

以上

◇本日の昼食

